



コストパフォーマンスの良さに満足!

豊富な品揃えと価格、鮮度が自慢のスーパーカワグチは、東京、千葉、神奈川で20の店舗を構えるスーパーマーケットチェーンです。

スーパーカワグチは、2003年からテラーメイトの現金カウンターを導入しています。導入のきっかけや現金カウンターを使い続ける理由をスーパーカワグチ東千葉店にてお伺いしました。



左から船橋さん、林田部長、竹内店長

導入の経緯

食品部部長 林田輝三さん:以前は大型の現金処理機を使用していましたが、その機械が壊れてしまったのを機に、ほかのソリューションをあたることにしました。その過程で、現金カウンターというものがあることを知りました。重さだけで現金を

測るというので、最初は半信半疑でしたよ。ただ、価格が大型現金処理機の4分の1だったこともあり、とりあえず使ってみることにしました。現金を重さだけで計数するというので、本当にちゃんと計数できるのか不安ではありましたが、導入してみると非常に正確ですし、何よりコストパフォーマンスが良いので大型の機械が壊れた店舗から順次テラーメイトの現金カウンターに変更することになりました。

店舗での使用頻度

東千葉店事務 船橋さん:スタッフ交代ごとのレジ点検作業のほか、釣銭準備金の用意、金庫内現金の計数、銀行入金の準備にテラーメイトの現金カウンターを使用しています。レジは最大5台使用します。スタッフの交代毎にレジ点検作業を行うので、1日に10回以上、現金カウンターを使用してレジ点検作業を行っています。

導入効果

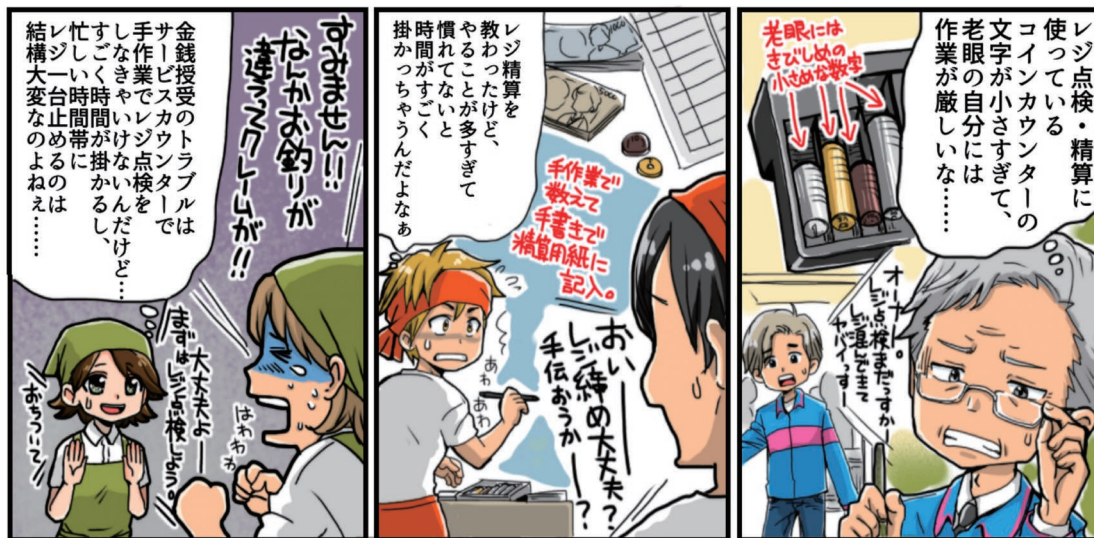
船橋さん:一日に計数する現金量は結構多いのですが、正確ですし、硬貨、紙幣、棒金、商品券も計数でき、短時間で現金まわりの作業を終えられるので助かっています。



東千葉店店長 竹内公一さん:基本的にはバックオフィスで使用していますが、場所もとらないですし、大掛かりなトレーニングも必要なく簡単に使用できますので、便利だと思いますね。

林田さん:やはりコストパフォーマンスが非常に良いことが大きいですね。かなり頑丈でなかなか壊れないことも利点です。これからは、キャッシュレス化が進みますので、キャッシュレスソリューションに予算を割いていく必要があることもありますし、現金計数作業はこれからもテラーメイトを使用していきたいと思っています。

キャッシュレス化の進む今、低コストでレジ周り作業を効率化!



紙幣も硬貨も
カウント



スピーディー
にカウント



紙幣1枚でも
正確にカウント

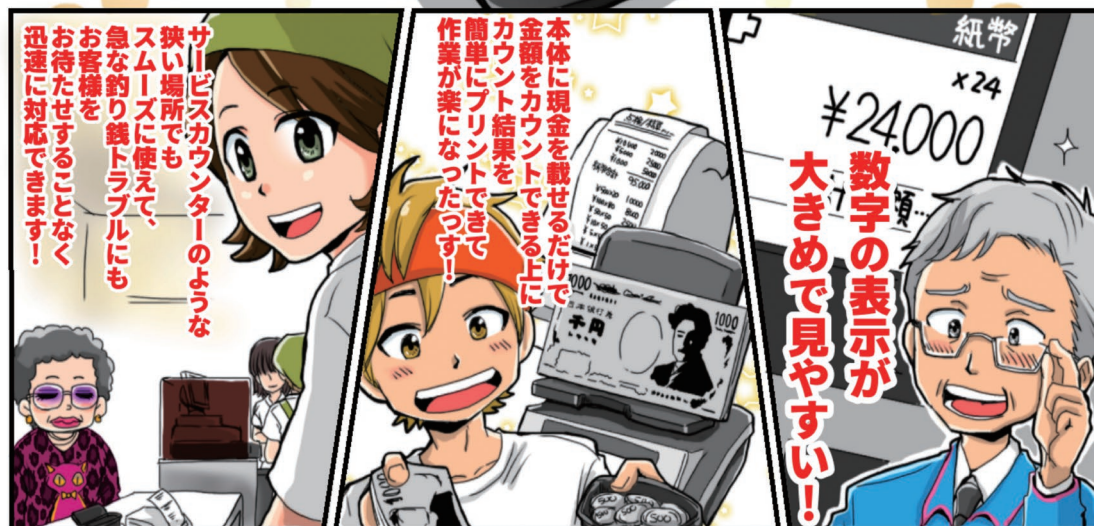


計量&持ち運び
可能で頑丈!



そんな現場の
声を受け、

テラーメイト
現金カウンターを
導入してみました!



T-iX 1000



T-iX 1000

現金カウンターに特化したスタンダード機種
主にコンビニ、飲食、専門店向け
紙幣・硬貨・棒金のカウントが1台で可能なモデル

荷重容量 最大荷重2kg

T-iX 2000



T-iX 2000

プリンターへの接続が可能な上位モデル
ドラッグストア、雑貨・アパレル店など幅広い業態の店舗向け
金券登録、つり銭準備金の設定が可能

外寸 奥行291mm 幅152mm 高さ166mm
(現金プラットフォーム含む)

本体重量 0.98kg

